

令和6年度北本市立宮内中学校 自己評価及び学校運営協議会評価書(まとめ)

評価項目	No.	観 点	自己評価		平均点	外部評価			
			A+B /全体 (%)	自己評価についての説明及び来年度に向けての改善策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	学校の取組に関する評価と今後の改善点等
組織運営	1	本校は、学校教育目標の具現化に向けて、教育課程の編成、指導計画の作成等を工夫している。	100%	○ローテーション担任は難しいが、給食やその学級の道徳を担当した教員が隔りの会を行うなど、部分的なローテーションを実施し、客観的に学級や学年を評価する機会をつくる。 ○小中連携の引き渡し訓練を来年度実施予定。アレルギー緊急時対応の掲示物を各学級に掲示していく。	3	2.875	A	A	・組織運営について、宮内中学校のマネジメントシステムは有効であることが確認できている。 ・改善すべき項目について、今後工夫・実践していただきたい。事故やトラブル等に対してのマニュアルを作成・活用とありますが、トラブルについては訓練が必要かと思う。どんなトラブルがあったとしても対応できるよう、様々なトラブルを想定しての訓練実施を望む。 ・生徒指導に関して、学校全体で把握して動くことは大変かと存じますが、学年以外の先生や部活動の顧問の先生等が関わるのは非常に良いと思う。 ・小中連携の引き渡し訓練については、昨今の災害の頻度から考えると大変有効な取組と考える。どのように実践するのか、早急に情報共有を図り実践につなげてもらいたい。 ・改善策の具体例(いつ何回、どのようなメンバーで実施するのかなど)を示す必要がある。職員から吸い上げた評価や意見を大いにし、学校としてのより良い方向性を時間をかけて話し合い改善策を打ち出していくことがPDCAサイクルを回すことにつながり、それが生徒のみならず教職員にとって誇れる学校づくりにつながっていくのではないかと感じる。 ・今後も継続して、教員の負担軽減に繋がる業務改善策を協議していく必要があると思います。 ・下校時にマチコミ等を具体的にどのように活用するのか検討し、示す必要があると思います。
	2	教職員は、PDCAサイクルのもと学級・学年経営や教科指導、校務分掌に工夫・改善しながらあつていく。	91%	○生徒指導の内容に特化した部会や会議の場をつくる。 ○PTAについては現状の活動にできる範囲で教員も参加していく。 ○各学年の担当、校務分掌で確認する機会をもつ。 ○下校時にマチコミ等を活用して下校の様子を見守ってもらう。	3		A		
	3	本校は、事故やトラブル等に対してのマニュアルを作成・掲示・活用し、組織的に、かつ迅速に対応している。	91%		2.75		A		
	4	本校は、すべての教育活動を通じて、教職員の共通理解のもと、組織的に生徒指導にあつていく。	96%		2.875		A		
基礎学力の徹底	5	児童生徒は、授業中、落ち着いて、学習内容を理解しようとする姿勢が見られる。	100%	○現行の補習形式の発展的取組(学年縦割り教科ごと方式) →現在、学年で補習学習を実施しているが、学年関係なく、教科で補習を実施してみる。 ・業務多忙な時期は学年によって異なる時期もあるため、教科内で相互に補い合いながら学ぶ機会を確保する。補習学習で適宜課題プリントを渡すなど、学校外での学習と結びさせたい。 ・学年関係なく取り組むことで「学校全体」の意識を醸成させたい。 ○週一回、朝読書の時間を学習時間にあててよいことにてみる。 ・例えば、金曜日をその時間にあてて、一週間の学習を振り返った上での計画的自発的な取組にさせたい。 ・月に1回は質問タイムにすることで、補習学習の要素も持たせ、学力向上につなげさせたい。 ・質問タイムの時には友人と学習方法を共有することで、効果的な学習方法を知り、学力向上につなげさせたい。 ・何のために勉強をするのか、学ぶ意義を考えさせることで、生徒の自発的な学習につなげさせたい。 ・☆今後はナイトスクールのような、学校外の機関と連携することも必要なのではないか。 ・☆学ぶ意欲を醸成させる基盤となるのは授業である。魅力ある授業を心がけることで「やる気」を高めさせたい。	2.75	2.75	A	A	・基礎学力の徹底については、有効性が確認できる。様々な取組や工夫をしており、宮内中学校の取り組みには敬意を表します。自己評価に☆学ぶ意欲を醸成させる基盤となるのは授業である。魅力ある授業を心がけることで「やる気」を高めさせたい。とあります。これはあくまで私の感じる事ですが、一番は面白い授業を提供する事。生徒が興味を持てば一気に基礎学力は上がると思いますし、若い先生が多い宮内中の先生方にはより楽しい授業への取り組みを期待します。 ・家庭学習は、生徒が自分に合った方法を工夫することが肝心ではないかと思う。 ・スタディサプリとかMonoxerなどの学習支援アプリを使うことで、先生方の省力化にはなる。年間5000円くらいの負担は生じるが、端末があるのだから積極的に使ってみたらどうだろうか(プリントの用意や補習の実施などは、先生方に過重な負担をかけると思う) ・学習が楽しいと感じたり、自分の成長を感じられるようになるのが理想ですね。 ・1年生が取り組んでいる昼休みの「ニコニコ学習タイム」を全学年導入してはどうでしょうか？分からないことを質問できる場があるのはとても良いことだと思います。 ・落ち着いた環境で学習ができることが宮内中学校の強みである。今後も学力向上につながる授業改善に期待する。 ・家庭学習の定着は、小中共同の大きな課題である。保護者への啓発をどのように勤めていくのか、その方法を連携しながら検討していくべきである。 ・生徒の授業への取組、学力向上、家庭学習の充実のためには、動機付けも大事になってくると思う。学力向上、家庭学習の充実の先に、どんな未来があるのかというキャリア教育の充実も図るとよいのでは。 ・タブレットを使って、家庭学習の時間を記録させ、データを蓄積して本人のやる気をアップさせ、保護者の関心を引くようなアプリを活用してもよいかと考える。 ・学年関係なく教科で補助の実施はぜひやってみるべきだと思う。違う学年の先生に教えられていることで、新しい気づきを得られることもあると感じる。 ・自己評価シートで「担当教員によって授業規律などに差が出ないよう、学校全体で改めて授業の約束等を確認・共有していくことが必要である。
	6	教員は、学力の向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて日々の授業改善に努めている。	100%		2.875		A		
	7	基礎学力の定着や授業規律の徹底など、教職員の共通理解のもと学習指導にあつていく。	96%		2.625		A		
	8	教職員は、児童生徒に家庭学習を定着させるために、家庭に積極的に関与できるなど工夫している。	70%		2.625		A		
規律ある態度の育成	9	児童生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつができる。	100%	○教員からの細かい指導、見届け指導を1年生時からクラスに差が出ないように継続して行っていく。指導だけでなく見本を行う指導の意味を教えてあげるとい認識も重要。 ○生徒の細かい言葉掛けや自信をつけるための場の設定きちんとした振り返りと評価を重視する。	2.875	2.7188	A	A	・規律ある態度の育成 については、多くの生徒は挨拶がきちんとできています。今後もご指導をお願いいたします。 ・クラスに差が出ないようにすることを、わざわざ目指す必要はないと思います。どの先生も、自分の持ち味を生かし、工夫していくことができると思います。 ・生徒のやる気を引き出し、様々な行動意欲を掻き立てようとする指導を今後も望みます。 ・生徒については、いつも元々な挨拶してくれる子がほとんどです。 ・宮内中学校の生徒のあいさつは、大変気持ちがいい、自ら進んであいさつできる習慣化ができていくということは、先生方の努力の賜物であると感じる。
	10	児童生徒は、各学年の発達段階に応じた場に正しい言葉遣いができる。	87%		2.75		A		
	11	児童生徒は、お互いのよさや努力等を認め合って学校生活を送っている。	96%		2.75		A		
	12	教職員は、すべての教育活動を通じて、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	100%		2.375		B		
健康・体力	13	児童生徒は、体力の向上に向け、学校生活全般で運動や体づくりに意欲的に取り組んでいる。	100%	○体育委員会を中心とした企画の継続や自由に使用できる体育用具を充実させること。生徒会予算で検討。 生徒から生徒へ呼びかける。	3	2.9375	A	A	・休み時間や昼休みにできるような運動が理想ですが、中々難しい問題かと思っています。現在あるのかわかりませんが、球技大会やマラソン大会等などの行事への準備期間などを体力づくりにあてるのも検討お願いします。 ・楽しく、意欲を掻き立てられる企画をお願いします。 ・日課の変更により、小学生の体力の低下は大きな課題となっているが、宮内中学校の保健体育科の先生方を中心に、体育授業や部活動において適時適切な指導を重ねてくださり、心身ともに大きく成長している姿を拝見できています。生徒自身が自らの心身の状況をしっかりと把握し、あきらめない姿勢を今後も醸成していただきたい。
	14	本校は、児童生徒の健康及び安全についての意識を高めようと努力している。	96%		2.875		A		
保護者・地域・異校種間連携	15	本校の教職員は、PTA活動や地域活動等に積極的に協力している。	78%	○PTAについては現状の活動にできる範囲で教員も参加していく ○音楽会の審査で、北本高校の先生にお願いした取り組みはよかった。来年度も高校との連携は機会があれば、増やしていく方がよい。小中連携は市の取り組みでもあるので、市内全体での協議が必要。 ○小中連携の引き渡し訓練を来年度実施予定。	2.25	3.6875	B	A	・音楽会への取組は素晴らしいです。北本高校との連携は今後も継続を期待します。 ・地域から期待されてきた中学校など、自治会などの組織ともつながりを大事にしていただければと思います。 ・PTA活動については、十分協力していただいていると思っています。PTA活動において先生方への不満を感じたこともありません。 ・PTA主催の行事もありませんが、年2回ほど行っている通学路点検に先生方も参加してみてもどうか。 ・連携教員の小学生への声掛けは、中学校の先生への不安感軽減に大きく役立っている。小学校側としては、中学校に送り出すという視点から3校の決まりについて児童に6年間かけて指導を重ねている。可能な限り中学校の先生方に小学生の日常を実際に見ていただくことで、中学校入学以後の対応が容易になるのではないかと感じている。 ・行事のついでにPTA活動を行うなど負担軽減に努めることも必要だと思う。先生方も無理のない範囲で参加する形でよいのではないかと感じる。 ・PTA活動がほとんどない。バトロールや地域活動もコロナ禍以降参加の機会があまりないとのこと。今現在実施している、していない活動を書き出し、重要なものは生徒の安全の為にも再開する検討をする必要があると思う。 ・授業交流の小中連携の取組が機能していない印象である。宮内中独自の北小・中丸小との連携を考える必要があると思う。(引き渡し訓練はとも良い)
	16	本校は、各種たよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果、課題等について情報提供している。	100%		2.875		A		
	17	本校は、保護者や地域と連携し不審者対策のバトロールや声かけ運動などの計画を立てて定期的に実施している。	91%		2.75		A		
	18	本校は、異校種間(幼保小、中高等)の連携を積極的に推進している。	91%		2.625		A		

学校独自の項目	①	学校行事や部活動等において生徒は主体的、積極的に取り組んでいる。	100%	〇「もく掃」という言葉の意味をしっかりと周知 反省会のカードの中にもその言葉を明記する。 反省会の項目の中身にももく掃に関する項目をいれてもよいのではないかと。 【もく掃】＝もくもくと清掃箇所を美しくする。 〇管理職の先生方、生徒指導部・教育相談部で再度検討会議以外での情報交換を密にしてい く。職員室内で欠席者や来ていない生徒の連絡が目に見える(連絡ボードなど)形でできるとよいのではないかと。	2.75	2.8125	A	A	・不登校については今後も最大の課題だと思います。今の不登校の生徒については、地道な声掛けを学校と家庭と仲間とで実践してもらいたい。同時に1年生の最初が一番肝心で宮中の魅力を全力で伝えて欲しいです。 ・部活動において、「辞めたい」と申し出た生徒に寄り添い、理由を受け止め、今後の学校生活が充実した方向へと向かうよう指導をお願いします。 ・問題行動のある生徒に対しての指導を担任、学年を超えて指導や見回りを行っている事は、大変素晴らしいと思います。 ・宮内中学校の行事は生徒の思いをしっかりと先生方が受け止め、素晴らしい成果を残されていると感じる。 ・清掃の仕方などは、3校で統一することでより効果が生じるのではないかと感じる。 ・不登校の問題は、高校も頭を悩ませている。学校のどこかに居場所があればと思うが、配置する教員がいない。中学校や北本市で不登校のための取組があれば共有していきたい。 ・「黙掃」と記載を変更する。無言からの脱却。とあるのに、話をしながら清掃する人が多い、無駄なおしゃべりが多い…との矛盾。 もく掃について先生方の間でも改めて共通理解を図り、取り組んでもらいたい。 ・生徒、保護者アンケートにやりとり帳をもっと見てほしい…などの意見があるが、十分に活用を図ってもらいたい。 ・SOSを出している生徒に丁寧に対応してもらいたい。 ・不登校の生徒・保護者と十分に連携をとり、相談等をすすめてもらいたい。
	②	生徒はものを大切に扱い、無言清掃に取り組むなど、環境整備、美化に努めようとしている。	87%	2.625	A				
	③	生徒は道徳性を高め、いじめや差別に対して正しく判断し、行動している。	100%	2.625	A				
	④	学校は、教育相談を計画的・組織的にを行い、いじめ・不登校等の問題に適切に対応している。	96%	2.625	A				
	⑤	学校は、学校公開・授業参観・懇談会等をねらいを明確にし、計画的に実施している。	100%	3	2.825	A	A	・今一度、個人情報の取り扱いについて確認していただきたい。 ・言葉遣いに関しては生徒の模範となるよう、教師が率先垂範することが大切です。 ・北本市内の学校施設設備面での脆弱性が常に伴うが、宮内中学校の場合、門扉の開閉や昇降口の常時施錠などの意識をより高めていく必要があると感じる。 ・小学校では、人権上の配慮から児童同士の呼称はもちろん、教員が児童を呼ぶ際も「〇〇さん」で統一している。中学校においても、義務教育最終段階という観点から社会人を輩出するという視点を持ち、先生方が生徒の呼称や言語環境についてもTPOを使い分け、高い意識で統一できると良いのではないかと感じる。	
	⑥	教職員は情報セキュリティポリシーに基づき、情報管理の徹底に努めている。	96%			2.75		A	
	⑦	教職員は来校者への声かけや施錠の徹底により、不審者による事故防止に努めている。	100%			2.875		A	
	⑧	教職員は文章や会話において、言語環境を整えようと努力している。	96%			2.625		A	
	⑨	教職員はICT機器を授業の中で効果的に活用している。	100%	3	3	A	A	・積極的に授業でICT機器を活用されている。今後も学習効率が上がるICT活用を継続していただきたい。	
来年度の重点目標(共通項目・学校独自項目の評価結果を踏まえて)					学校運営協議会の総評				
『目標をもって学校生活を送る生徒の割合をA・B合計合計90%以上を目指す』 1年生A・B合計82% 2年生A・B合計71% 3年生A・B合計84% 色々な目標がある中で、今日・今週・今月・委員会・部活動の中など、その時の自分に合った目標を選択できるようにしていく。最終的に学校目標につながるようにする。					・生徒、一人ひとりが目標をもって学校生活を送る。この究極な重点目標の実現を目指している宮内中学校に敬意を表します。今後もより良い組織運営を期待します。 ・どんな目標が出てくるのか、読んでみたいですね。目標を持てるかどうかよりも、生徒の皆さんが多様な、自分らしい目標を持てることが大事だとおもいます。成績などで競うより、自分らしさを育てられる学校であってほしいです。 ・家庭学習は目標ではなくて手段ではないかなと思います。家庭学習をしなくても、基礎学力はあり、授業も理解できているならそれはそれでよいのではないのでしょうか。 ・電子黒板やchromebookを最大限生かした授業を行っていると思います。 ・授業以外の学校生活では、一部乱れた生徒もいるように思いますので、安全・安心おちついた生活ができるようになると思います。 ・学力向上、体力向上、不登校対策などの学校課題が山積する中、宮内中学校では教職員が一丸となり、生徒が自分の目標をもって成長につなげるために様々な策を積極的に講じている。特に、学力向上に向け補習での学びをブラッシュアップし、生徒にとって必要なことを実践しようとする姿勢はとても素晴らしい取組であると評価できる。家庭への意識啓発や日常生活での規範意識の向上、教職員の言語環境を整えることなどは小中連携をしっかりと行い、9年間の統一した生徒の学びや教職員の指導体制づくりにつなげるなどの相互理解を図ることで、大きな成果につなげられると感じる。教職員の思いを大切にしながら更なる高みを目指していく宮内中学校の今後の学校運営に大きく期待している。 ・校内にメッセージボードがあり、他者に優しい言葉がけがされていた。また、アンケート結果の自由記述にも生徒・保護者から学校・先生に対する温かい言葉が多く、厚い信頼関係が築かれていることを感じた。日頃の積み重ねで目標達成を目指すことをこれからも続けてほしい。 ・家庭学習については、ぜひこれからの子どもたちに必要な「学び続ける力」を身に付けるためにも、定着を目指してほしい。 ・より具体的にわかりやすい改善策を示していく必要がある。				

＊「自己評価の適切さ」について

A：適切な評価である B：ほぼ適切な評価である C：やや不適切な評価である D：不適切な評価である

＊「改善に向けた取組の適切さ」について

A：十分な効果が期待できる B：ほぼ十分な効果が期待できる
C：あまり効果が期待できない D：効果が期待できず改善を要する

＊学校の取組に関する評価と今後の改善点等について

- ・評価項目ごとの取組状況に対する評価や今後に向けての要望等を記入する。
- ・自己評価書の項目を網羅的に評価するのではなく、「自己評価の高かった(低かった)項目」や「今年度の重点的な取組」に絞って記入する。

＊その他全体的な留意点

- ・外部評価書は1枚にまとめる必要はありません。(2枚以上可)
- ・共通項目と学校独自の項目を別様にて作成してもかまいません。
- ・学校独自の評価項目、評価項目数は、各学校で定めてください。
- ・学校運営協議会の総評欄は、共通項目、学校独自の項目の両方を踏まえての総評を記入してください。